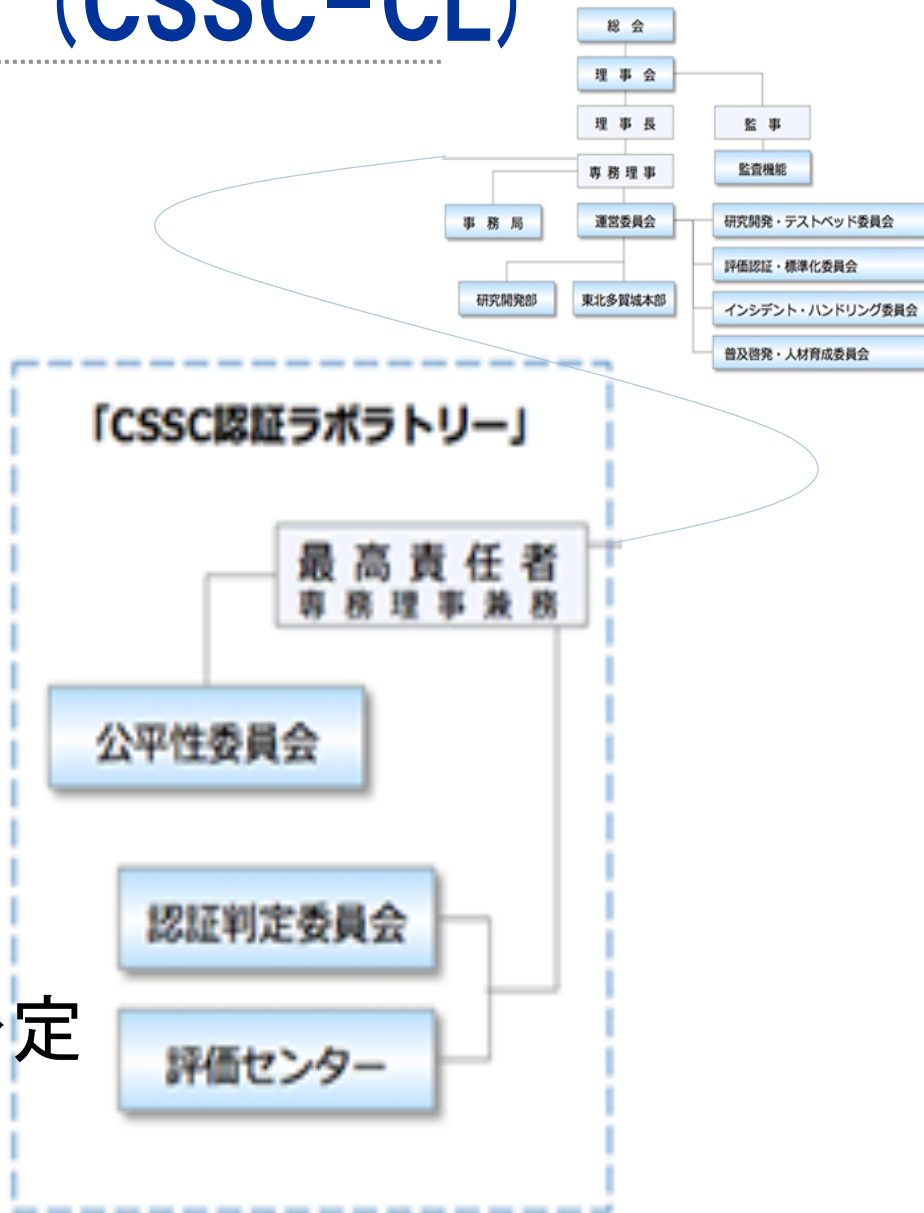


具体的なCSSCの取組み

- CSSC認証ラボラトリー (CSSC-CL)
- EDSA認証機関(Chartered Lab.)へのプロセス
- EDSA認証への取組み
- EDSA認証のプロセス
- EDSA認証をお考えの方へ

CSSC認証ラボラトリー (CSSC-CL)

- 2013年8月発足
 - 目的: EDSA認証機関
- メンバー
 - 管理主体3名
 - 評価員: 6名
 - 評価支援員: 1名
 - 内部監査リーダー: 1名
 - 公平性委員会: 5名予定
 - ◆ 委員委嘱依頼作業中
 - 認証判定委員会: 6名予定
 - ◆ 委員委嘱依頼作業中



CSSC認証ラボラトリー (CSSC-CL)

●所在地

–宮城県多賀城市
桜木3-4-1
みやぎ復興パーク
F21棟6階

●事務所

–CSSC-CL事務所：1室

◆常設(CSSC-CL職員のみ利用可)

–評価室：最大3室

◆受審者の立ち合いの下、
実機評価を実施する

東北多賀城本部(TTHQ)



東京研究センター (TRC)

EDSA認証機関 (Chartered Lab.) へのプロセス

●Chartered Lab.(CL)が取得すべき適合性認定

–試験所認定

–製品認証認定

●製品認証認定の為には製品認証行為を実際に行う必要がある

–EDSA認証スキームでは、EDSA認証を実施してもよいと仮免許を出す仕組みがある

◆PCLS: Provisional Chartered Laboratory Status

–EDSA認証が実施できる体制であることを適合性認定機関が確認したレポートをISCIに送付し、ISCIがPCLSを認めるか否かを決定する

EDSA認証と認証機関が従うべき 規格/仕様/規準文書

EDSA-100
EDSA-200
EDSA-204
EDSA-300
EDSA-301

EDSA-312

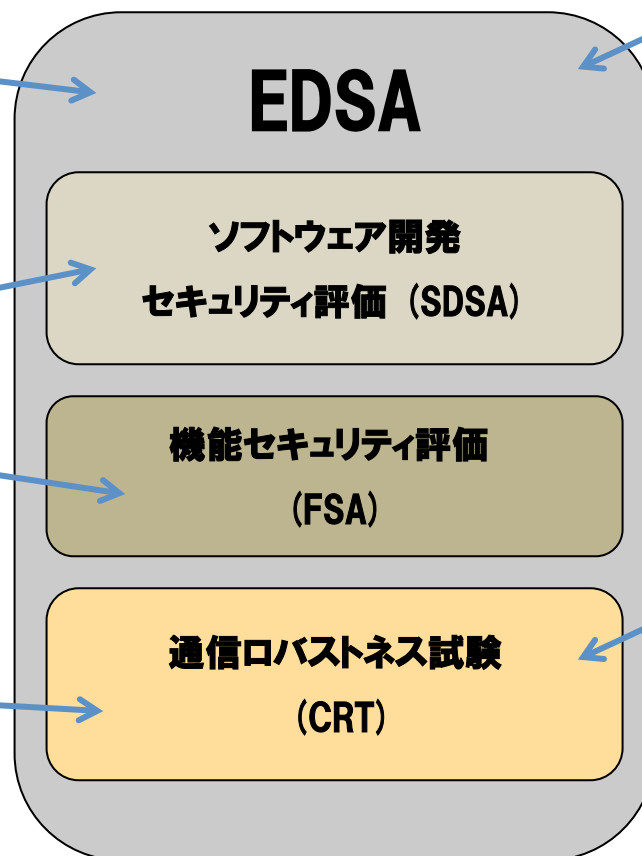
EDSA-311

EDSA-201

EDSA-206

EDSA-310

EDSA-401~406



ISO guide65
JIS Q 0065
(製品認証)

ISO 17025
JIS Q 17025
(試験所)

EDSA認証機関 (Chartered Lab.) へのプロセス

- Chartered Lab.(CL)が取得すべき適合性認定
 - 試験所認定
 - 製品認証認定
- 製品認証認定の為には製品認証行為を実際に行う必要がある
 - EDSA認証スキームでは、EDSA認証を実施してもよいと仮免許を出す仕組みがある
 - ◆PCLS: Provisional Chartered Laboratory Status
 - EDSA認証が実施できる体制であることを適合性認定機関が確認したレポートをISCIに送付し、ISCIがPCLSを認めるか否かを決定する

EDSA認証機関 (Chartered Lab.) へのプロセス

- PCLSの有効期限: 18か月
- PCLS有効期限内に製品認証行為を実施し、適合性認定機関から製品認証認定を得ることにより、正式な
–Chartered Laboratory
を取得できる

EDSA認証への取組み

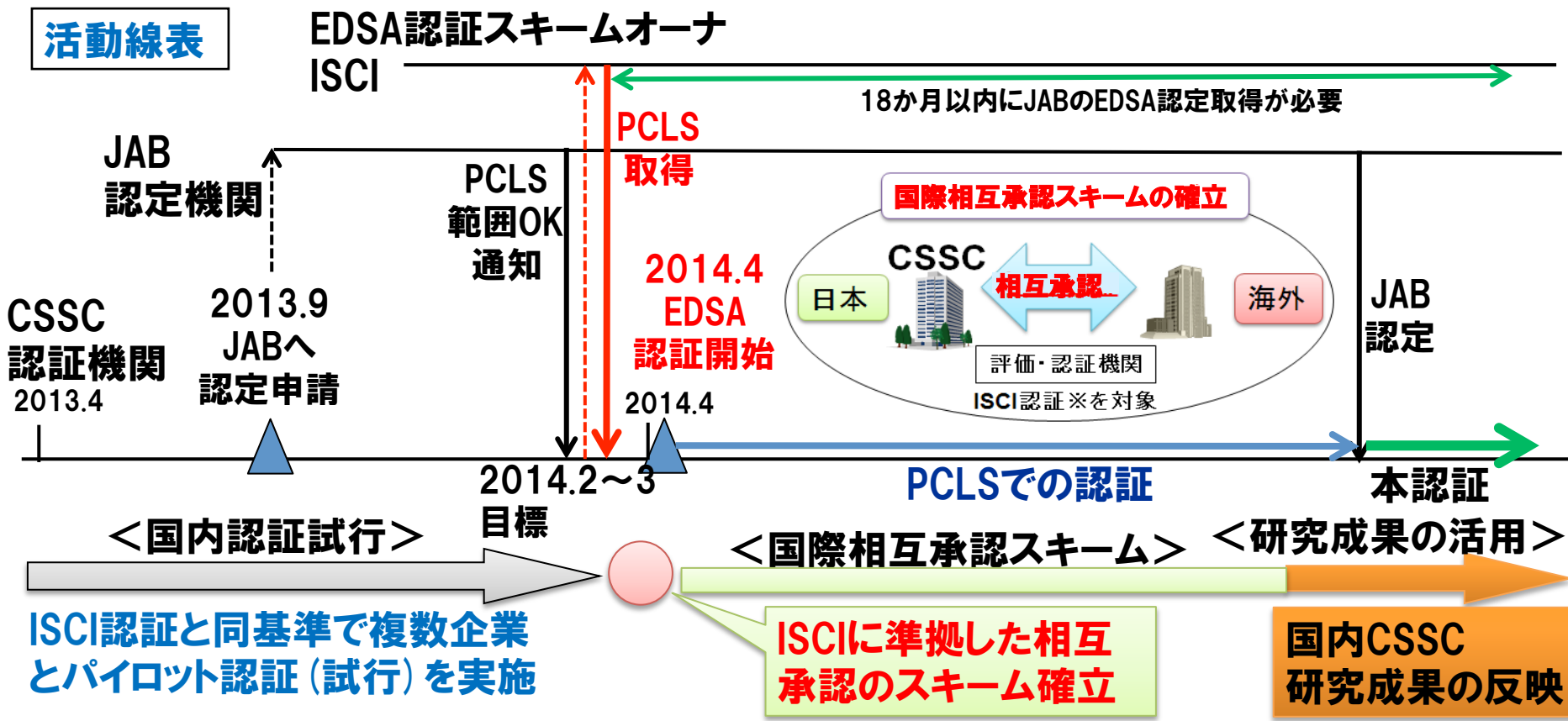
2012年度	2013年度	2014年
<ul style="list-style-type: none"> • EDSA認証の研究 	<ul style="list-style-type: none"> • CL立上推進 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 品質書類等整備 ✓ CSSC-CL発足 ✓ 9月試験所認定 + 製品認証認定をJABへ申請 ✓ (認証)パイロットPJ推進(3社) • 試験所認定取得 • PCLS取得 	<ul style="list-style-type: none"> • PCLSでのEDSA認証 • 製品認証認定取得 • 正式CLへ昇格 • EDSA認証実証事業 <p>事業化へ</p>

2014年4月に
受審企業を
応募開始

EDSA認証機関に向けての具体的取組み

2014年4月よりPCLS (仮免状態)でのEDSA認証のサービス開始予定。
 認証機関の体制・EDSA認証標準への取組み・品質マニュアル等の整備をし、
 JABに対し2013.9に認定申請をし、現在審査中の状態。

活動線表



ISCI : ISA Security Compliance Institute ISA : International Society of Automation 国際計測制御学会 PCLS: Provisional Chartered Laboratory Status 仮免状態



EDSA認証のプロセス

- ① 受審を希望される方は、
 - 認証申請書を記載してCSSC-CLへ提出してください
 - **注意事項**
 - ◆ **認証申請書の記載内容が認証書に記載されます**
- ② 「認証審査契約」(秘密保持契約含む)を締結させていただきます
- ③ 公平性を考慮し、評価チームを編成します
- ④ DUT (Device Under Test:被試験機器)の理解を深めるため打合せさせていただきます。

EDSA認証のプロセス

- ⑤ 詳細な見積もりと実施計画書を提示させていただきます
- ⑥ 上記の提示資料(見積りと実施計画)に同意いただいた後、認証プロジェクトの開始となります
- ⑦ DUTをCSSC-CLへご送付いただきます
 - － **注意事項**
 - ◆ DUTをCSSC-CLにご送付いただけない場合は予めお知らせください
- ⑧ CRT試験はCSSC-CLで実施します
 - － **注意事項**
 - ◆ 受診者様の立ち合いが原則です
- ⑨ FSA、SDSAの要求事項に対する監査は現地への訪問、若しくは書類審査、または、その両方で実施します
- ⑩ 報告書案の提示をさせていただきます

EDSA認証のプロセス

- ⑪ 報告書を「認証判定委員会」に提示し、認証の合否を判定していただきます
- ⑫ 認定合格の場合、
 - 認証書を発行し、お手元に届けます
 - WEBへ公開します
 - ISCIへ申請し、ISCIのHPへ登録するように依頼します
 - ◆ EDSA認証合格時にはISCIのHPへ登録(有料)が必要です。
 - 会員企業： \$ 7,500
 - 非会員企業： \$ 12,500

EDSA認証をお考えの方へ

- 初回の受診では、セキュリティ・アーキテクチャの理解や、ソフトウェア開発環境の監査に時間が掛かります。
- セキュリティ・アーキテクチャやソフトウェア開発環境を維持していただければ次回以降のFSA、SDSAの監査が大幅に軽減されます。セキュリティ・アーキテクチャやソフトウェア開発環境の維持展開を積極的に考えて頂ければと思います。

ご清聴有難うございました